

令和5年4月26日

杉並区立西荻北子保育園

園長 石床 美穂子

# 5月の園だより

## 「対話を大切に」

副園長 小森 三奈子

西荻北子保育園を見守る桜の木が、美しい緑の葉を伸ばしています。入園、進級から1ヶ月が経ちました。子どもたちは、徐々に新しい環境に慣れ、自分の興味をもった遊びに向かっています。

杉並区は、令和4年に、杉並の教育の基本的な考え方を示したものととして、『杉並区教育ビジョン2022』を策定しました。杉並区教育ビジョン2022 ～みんなのしあわせを創る杉並の教育～ には、大切にしたいこととして『学び合い、信頼をつくり、共に生きる』『違いを認め合い、自分らしく生きる』『誰もが社会の創り手として生きる』があげられています。そして、「みんなのしあわせを創る杉並の教育」を豊かに続けるために、子どもも大人もすべての人が、生涯にわたって、学び合い、教え合い、かかわり合う教育の当事者として、以下の5つを日常的に心掛けることが大切とされています。

1. 子どもの思いを尊重する
2. ちがいを受け入れる
3. 対話を大切にする
4. 学びの成長を語り合う
5. 社会を創る当事者として考える

先日、子供園では、年長組が年少・年中組のために歓迎会を開いてくれました。入園式の日、新しい名札を胸に着け、子供園に来た年下の幼児を見て“かわいいわね”“優しくしてあげよう”と、感じた年長児は、前年度に卒園した年長児から優しくしてもらった経験から“自分たちも何かしてあげたい”と思っただようです。

そこで、年長組担任は、幼児の思いを尊重し、年少・年中組にどのようなことをしてあげたいか、学級全体で話し合う時間をつくりました。年長児は、過去に自分たちが経験した歓迎会やお別れ会等を出し、「プレゼントを作ってあげよう。」「歌も歌ってあげると喜ぶと思うよ。」「みんなが見えるように大きな手紙（ポストター）も書こう。字は先生が書いて、周りに私たちが絵をかきましょう。」等、自分たちがやってみたいことを出し合いました。

保育者は対話の中で、幼児の思いを聞きながら、思いが実現できるように方法を一緒に考えました。そして、年長児は期待感をもって準備をすすめ、4月14日の歓迎会の日を迎えました。

年少・年中児は、年長児が作ったちよをプレゼントしてもらおうと、すぐに動かし遊び、うれしそうな笑顔をを見せていました。また、その様子を見て、年長児も「喜んでもらえてよかった。」と笑顔でした。この経験を通して、年長児は『自分の思いや考えを伝え、実現するうれしさ』や『相手に喜んでもらううれしさ』年少・年中児は『優しくしてもらおううれしさ』を感じることができました。

子供園では、対話を大切にし、保育者が子どもたちの声に耳を傾け幼児の思いを尊重していくことで、子どもたちが安心して自分を出せるようにしています。ご家庭でも、ぜひ、お子さんの声に耳を傾けてみてください。

そして、子どもたちだけでなく、園では、保護者の皆様との対話も大切にしていきたいです。保護者の方が家庭や子育てに夢をもち、喜びを感じられるように、一緒に考えていきます。困ったことや、悩みなどありましたら、お気軽に担任や園長・副園長までお声掛けください。

## 子どもたちの様子と今月のねらい

### 3 歳児 うさぎ組

子供園やうさぎ組での生活に少しずつ慣れ、登園時にテラスにいる担任を見つけると、門で保護者と別れて園に入るお子さんが増えてきました。保育者に対して親しみの気持ちが出て、一緒に追いかけて遊ぶ楽しんだり、「一緒に遊ぼう」と手を引いたりしています。歓迎会で年長組からもらった蝶々のペーパーサートは、保育室や園庭で思い思いに動かして遊びました。今月は、戸外で遊ぶ気持ちよさを感じ、体を動かしたり砂や泥を使ったりで遊んでいきます。

#### <今月のねらい>

○保育者と戸外で体を動かして遊んだり、やりたい遊びをしたりすることを楽しむ。

○身近な物の自然に興味や親しみをもち。

○身の回りのことを自分でやってみようとする。

#### <家庭との連携>

これから暑さを感じる陽気になり、水を使った遊びも増えていきます。汗をかいたときや汚れたときには着替えをしますので、脱ぎ着のしやすい洋服を着て登園してください。また、心配な方は、多めに着替えのご用意をお願いします。

### 4 歳児 くま組

少しずつくま組での生活に慣れ、やりたい遊びを見つけて遊ぶことを楽しむ姿が見られるようになってきました。「先生こっちきて!」「一緒に遊ぼう」と保育者を誘ったり、見つけたものや作ったものを保育者に見せたりし、保育者に親しみの気持ちをもって関わる姿が見られています。

今月も保育者と関わりながら、安心した環境の中で、自分の思いを出して遊んでいけるように援助していきます。

#### <今月のねらい>

○やりたい遊びを見つけて、保育者や友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。

○戸外で体を動かして遊ぶ楽しさや心地よさを感じる。

○身支度や着替え等、身の回りのことを自分でしようとする。

#### <家庭との連携>

<くま組になって1か月が経ち、張り切って登園していた子どもたちにも疲れが見えてくる頃かと思えます。週末や連休では、ご家庭で楽しいことをしたり、ゆったり過ごしたりして、元気に子供園に登園できるようにしましょう。

暑さを感じる日も増えてきました。汗をかいたり、泥遊びをしたりして、着替えをする機会が増えていきます。自分で着替えをする経験が積み重ねられるように、調節できる服装や着脱のしやすい衣服の用意をお願いします。

## 5歳児 そう組

年長組になったからこそ使える遊具で遊んだり、年少児のお世話をしたりし、年長組になった嬉しさを様々な活動の中で感じています。また興味のある遊びにじっくりと取り組み、友達と一緒にめあてをもって遊んだりする姿が見られています。このほり作りでは、友達と一緒につくることに喜びを感じながら、「こうしたらどう?」「いいね!」とやりとりをしながらつくり進めています。

### <今月のねらい>

- 自分の思いを伝えたり、友達の思いを聞こうとしたりしながら、生活や遊びを自分たちで進めようとする。
- 共通で体験したことを再現して遊ぶ楽しさを感じる。
- 身近な自然の変化や動植物の生長に興味や関心をもつ。

### <家庭との連携>

遊びの中で、思いの違いからトラブルになる姿が見られています。ご家庭でも、園での友達との関わりの様子を話すことがあるかもしれません。お子さんの話をじっくり聞いてあげて、ご心配なことがありましたら、いつでもお声掛けください。

## ほしグループ 長時間保育

うさぎ組は、保育者と一緒にダンゴムシを見つけ喜び姿が見られています。自分のバケツに入れて触ったりじっくりと見たりしてダンゴムシに興味をもっていきます。また、砂場では砂場用の電車やミニカー車などの乗り物を走らせて遊んでいます。<ま組は、泥団子づくりを楽しんでいます。初めは、つくることを難しそうにしていた幼児も保育者と一緒につくるうちに自分でも作れるようになってきました。白砂を掛けたり、翌日も続けたりと大事につくっています。そう組は、そう組の砂場で長いシャベルが使えるようになった嬉しさから、友達と大きな山をじっくりとつくる姿があります。また、散歩に行った日に、折り紙や京花紙でお花をつくったり、お菓子の絵本を読むと絵本に出てきたお菓子を覚えて絵をかいたり経験したことが遊びに繋がっている様子が見られています。

一人ひとりが安心して過ごせるように、一緒に遊んで楽しさに共感したり環境を工夫したりしていきます。